

拝啓 新緑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃は大変お世話になっております。

おかげさまで、昨年度は7人の子どもたちが社会に巣立ちました。うち2人が通信高校を卒業、自動車の免許も取得しました。1人は塗装、1人は一部上場の会社に入社、もう1人は就労継続支援施設で大活躍しているとのこと。彼らについて、土浦児童相談所と筑西児童相談所から、「しっかりと実績を残した。」とお褒めの言葉を頂きました。茨城県監査でも、平成28年度に続き「良



法人 あいさつ



シオンだより

春号
平成30年6月発行
認定NPO法人青少年の自立を支える会シオン

好きな運営がなされていることが認められました。」との評価を受けました。

さらに、茨城大学金丸隆太准教授からも、ある子ども達の事例検討に関し、「成功事例です。自信を持ってください。」との言葉を頂きました。

私たちは、専門家と協力して、心理教育的介入手段を用いながら、環境を整え、彼らが成育歴などの囚われから解放され、今を生き延びけるよう手助けをしています。結果の見えるにくい活動です。前述の評価は、職員全員の自信になりました。これも陰ながら、お力添えをしてくださっております。

今年度もぜひ、賛助会員または正会員を続けて頂き、ご協力して頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

- 正会員 10名
浅井和幸様 井坂たけ様 石川為海様 江尻飛鳥様 鈴木君枝様
則武窓子様 (N)まい・あみ様 水野洋様 水野雅子様 山田哲哉様
- 賛助会員 105名
秋山美智江様 阿部治彦様 (N)阿見アスリートクラブ様
安藤真理子様 飯塚きよ様 飯塚みさ子様 飯村幸子様 石上綾子様
石川芳江様 石島美枝子様 伊藤清和様 伊藤幸野様 犬飼朝子様
海老原悦子様 遠藤むつよ様 (株)エーエール様 大竹恵美子様
大竹けい子様 大竹美津子様 大津良子様 大塚恒夫様 大橋達也様
岡元孝子様 小田文裕様 乙川鑑仁様 小張真起子様
(株)オープンソースプロキアメント様 加藤栄様 加藤彰将様
春日悦子様 川上静子様 神田けいこ様 神立史子様 木村和子様
菊池正行様 久保田和江様 国松真澄様 栗原千鶴子様 栗原雅樹様
小泉慶子様 小関初江様 椎木春江様 斎藤信子様 酒井愛子様
坂本晶子様 坂寄こと様 桜井一恵様 桜井真澄様 佐藤孝様
佐藤千香子様 佐藤裕樹様 佐藤ゆかり様 椎木春江様 島田桂子様
清水公子様 清水幸子様 白井美代子様 児童養護施設窓愛園様
鈴木淑子様 鈴木みち子様 諏訪原昌子様 関和子様 武田真知子様
高塚耕司様 武守ひろみ様 田村尚子様 田山文子様 知久進様
知久浩明様 (N)つくばアーバンガーデニング様 手賀あや子様
戸塚由季様 中尾美佐子様 中川武子様 中島正子様 根本健也様
根本さち子様 野原智子様 則武昌之様 長谷川昌江様 花房順子様
浜谷健生様 自立援助ホームハレルヤ・ファミリー様 福島有基様
藤平富美子様 古市みどり様 林祐子様
(N)ヴェルシバ子ども自立支援センター様 古澤博子様 増山京子様
自立援助ホームマルコの家様 三浦由美子様 三上税子様

昨年度も、当法人の活動にご理解とご支援をいただき、誠に厚く御礼申し上げます。

- 水野君子様 (株)美都住建様 宮岡崇様
宮岡まさ子様 宮崎和歌子様 宮本寛之様 柳瀬久美子様
山口智子様 山田篤様 山田也映子様 山田美津子様
山中みさ子様 山峰邦江様 山元富士子様 横田公子様
吉田徳雄様 渡辺多加子様 NKコーポレーション様
- 寄附金 16名
飯田板金加工業様 茨城県更生保護女性連盟様 江尻飛鳥様
大木滋子様 大木敏男様 大木俊典様 木村愛子様 佐藤孝様
翔洋学園高等学校様 知久浩明様 土浦市更生保護女性会様
(N)つくばアーバンガーデニング様 水野洋様 宮本寛之様
山田也映子様 大和ネクスト銀行様
- 助成金・補助金・協賛金 7名
(公財)愛恵福祉支援財団様 阿見町様 茨城県児童福祉施設協議会様
(財)児童育成協会様 (福)つくば市社会福祉協議会様
フィリップモリスジャパン合同会社様 (有)レジャークリエイイト様
- 寄付物品 20名
浅井和幸様 阿見ライオンズクラブ様 (株)イオンリテールつくば店様
井坂たけ様 伊藤幸野様 稲敷地区更生保護女性の会様 河野憲人様
(N)国連支援助交流協会北関東支部様 鈴木君枝様
セカンドハーベスト・ジャパン様 のらくくす農園様 (N)ハチドリ様
自立援助ホームハレルヤ・ファミリー様 (株)日立警備保障様
檜山美穂子様 フードバンク茨城様 山越典夫様 (株)ライフナビ様
立正佼成会土浦教会様 TKG事務所様
- 五十音順
平成30年3月31日現在

楽しみな
更生保護女性会による
夕食づくりの日



土浦市更生保護女性会、稲敷地区更生保護女性の会の方々が中心となり、「ほっとけない」を合言葉にホームの子ども達に対して奉仕活動をして下さっています。

更女の方の声

昨年は、着の身着のまま入居して下さる子どもに、暖かい布団と洋服を持っていきました。「仕事に行くための足がない」と言われた時には、新品ではありませんが、自転車を用意しました。家庭の味、おふくろの味を知ってもらいたいと、月に2回食事作りをして母のぬくもりを届けたつもりです。巣立ちの際は、連盟の方から、ほんの少しですが、「愛の募金」もお渡ししました。

私たちは、事あるごとに世話焼きをしています。やりすぎくらいで丁度よいと思っています。これから、子ども達の幸せのため、「ほっとけない」運動を続けていきたいと思っています。



職部門と違い、純和風な料理が多いので子ども達からのうけも良いです。



来年からは、自立援助ホーム「あい」と一緒にいきます。



▲山頂からのスキーコース

2 日目になると皆滑れるようになり、雪山を満喫していました。これからは初めて体験をたくさんさせたいなと思いました。

1 月に 1 泊 2 日でスノーボード合宿に行ってきました。

冬旅行

スノーボードはおろか、大量の雪を見るのも初めてという入居者がほとんどで、初日は雪山に苦戦していました。

救命訓練の様子 ▶



▲千葉県西部防災センター。情報を守るための訓練や体験施設です。

防災訓練

毎年 3 月は「防災訓練」を行っています。

東日本大震災から 7 年の月日が経ちましたが、あの日学んだことを風化させないために、千葉県西部防災センターでの体験学習を行いました。

セカンドハーベストジャパン 様、のらつくす農園 様、フードバンク茨城 様、伊藤幸野 様、鈴木君枝 様が食材を提供して下さいました。▼



山越典夫 様、ライオンズクラブ 様、立正佼成会 様がお米を提供して下さいました。▲

昨年度も多くの方が、沢山の寄付物品を提供して下さいました。



イエローレシート

毎月 11 日は「イオン幸せの黄色レシートキャンペーン」を開催しております。昨年は総額でおよそ 2,740,000 円分のレシートの投函があり、その 1% となる 27,400 円分のギフトカードを頂きました。皆さまのご支援、ご協力ありがとうございました。頂いたギフトカードは子ども達の日用品購入費に充てさせていただきます。

今年度の店頭活動は 7 月 11 日(水)、10 月 11 日(木)、1 月 11 日(金)です。各日 13 時〜つくばイオン食品レジ前を予定しております。

福島県郡山市に 新たな自立援助ホーム あいの新設



▲ホームは JR 郡山駅から徒歩 10 分の好立地



▶ キッチンの様子。

平成 30 年 4 月 1 日に開所した定員 6 名のホームです。福島県の中央に位置する郡山市にあります。県内では 2 か所目、市内では唯一の自立援助ホームです。ホームの周辺には、駅、ハローワーク、商業施設、専門学校、自動車教習所等の施設があり、立地環境にも恵まれています。ホームの名前である「あい」には、2 つの願いが込められています。子ども達が主体性を持って自身の人生を切り開いてもらいたい、I(私)をしっかりと持った人に育ってほしいという願い、そして、自分にも他者にも愛を持って接することのできる人が育ってもらいたいという願いです。現在は 1 名の男の子が入居しています。これから沢山の子ども達の自立のお手伝いが出来ればと思います。よろしくお願いたします。

みらい 昨年度の活動報告

平成 29 年度の自立援助ホームみらいの利用者は、延べ 1,550 人でした。定員 6 名に対し、1 日の平均利用人数 4.25 人でした。利用者のうち、7 人が通信制高校の単位を習得し、うち 3 人の子どもが高校卒業しています。毎年、若干名の高校卒業者を輩出していますが、これも定期的に学習指導をしてくださったボランティアの先生方のおかげと感謝しています。



また、7 人が巣立っていきました。各々、塗装業、ボクシングジム、溶接業、清掃業、訓練施設で働き、実績を残すことができました。一方、とても残念なことですが、2 人が少年院送致、1 人が鑑別所送致となりました。これにめぐずに、これからも更生保護を必要とする者も、受け入れていく覚悟です。ご理解ご協力をお願いします。

みらいえがおの家

昨年度の活動報告

みらいえがおの家は今年で 4 年目を迎えることができました。昨年度は通信制高校を 2 名が卒業し、両名とも新卒の採用を受けることが出来ました。2 名とも夢であった職業に就くことができ、一人は神奈川県で一人暮らしをしながら美容師見習い、もう一人は大手運送会社のトラックドライバーになることができました。面接に試験と 2 人ともお疲れ様でした。

生徒が通す袖を通す日、新着のトラックドライバーに成ることを希望し、予てからトラックドライバーに成ることを希望していました。



土浦地区 BBS 会との トラスト活動

毎年、のらつくす農園において、環境保全型農業における体験的な学習を行っております。(のらつくす農園は完全無農薬有機栽培です。)

昨年度は計6回のトラスト活動を行い、BBS 会員をはじめ、更生保護女性会や保護司の皆さま、シオンの子ども達を含め延べ80名の参加がありました。

この活動を通して子どもたちの農業や自然の大切さ、食育への関心が高まることを願っています。

のらつくす農園 ◀



汗を流した後の自然の中で
の昼食は格別でした。▼



子どもたちの声

環境保全の大切さを学べた事と、自然のサイクルの素晴らしさに感動しました。(男子)

作物を作る事は、いかに手間の掛かる作業かを知りました。

これからは農家の方々に感謝して食べたいです。(女子)

環境保全の重要性や命の大切を学び、私たちが生きていくなかで他の生き物から命を頂かなければならぬことを知り、「いただきます」「ごちそうさま」を大切にしていかなければならないと思いました。(男子)

つくばマラソン

昨年も、毎年行っているつくばマラソン会場での模擬店出店を行いました。うどんは700食を完売し、寄附金を含む420,060円の売り上げとなりました。

売り上げは子どもたちの学費に充てられています。



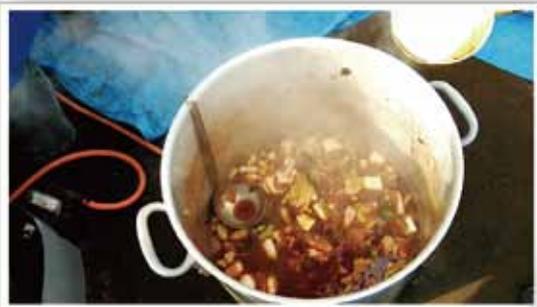
お昼時には長蛇の列が ▶



▲名物の大釜。毎年シオンのうどんを食べに来られるランナーの方も増えてきました。



◀写真は寸胴鍋で作ったチゲうどん。



▲看板には2杯の売上で一時間の授業料を確保でき、200杯の売上で卒業までの授業料を払うことができます。と書いてあります。

土浦市更生保護女性会と稲敷地区更生保護女性の会から8名の方が、ボランティアで手伝いに来て下さいました。皆様の協力なしでは出来ませんでした。ありがとうございました。▶

サポート校シオン学苑 昨年度の活動報告

サポート校シオン学苑には現在12名の子どもたちが在籍しています。29年度は2人が高校卒業の資格を取得しました。卒業後はトラックドライバ、美容師など自分の夢を実現するために就職をしていきました。

このように、サポート校シオン学苑に通う子どもたちは、仕事をして、貯金を作りながら将来に備えて頑張っています。

そして、ボランティアの先生方や、職員の子どもたちへの想いが彼らの背中を押しています。



▲昼間はアルバイトをし、夜は勉強をする生徒。職員も全力でサポートしています。

ステップハウスの開所

法人から徒歩10分の距離にあります。▼



ステップハウスとは、既存事業では支援できなかった20歳以上の若年者の就労支援を目的とした施設です。

開所するにあたり、阿見町の市民公益活動支援制度を活用し、近隣住民の方々向けに広報や説明会を行いました。

説明会は計3回、37名の参加があり、住民の皆さまにご理解を得られたと思われます。

場所 阿見町うずら野 1・23・14

昨年度のアلبム

春旅行

4月には「有限会社レジャークリエイト」様より補助を頂き、春旅行に行ってきました。当日は強い雨が降っており、当初予定していたアスレチックパークへ行くことは断念し、屋内施設のあるラウンドワンに行きました。

初めて行く子どもが多く、とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます。



柏市にある天然温泉満天の湯。和風の綺麗な建物で、湯舟の種類も豊富な良いところでした。▼



夏の修学旅行

夏には毎年恒例の修学旅行に行ってきました。陶芸体験や今話題の徳川ミュージアムを見学してきました。

また、みんなの要望もあり、日本屈指のパワースポットである、御岩神社をお参りし、パワーを頂いてきました。

▲美しい自然の中にある境内は日々のストレスを忘れさせてくれました。

徳川ミュージアム。水戸光圀公の功績がわかりやすく展示されていました。▼

